

教職員自己評価 結果公表（令和7年4月実施）

認定こども園みどり丘幼稚園

●本園の教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味を持ち、探索し思考する過程を大切にしたい教育を目指している。

また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、保育教諭との信頼関係に支えられた生活、興味・関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と充分に関わって展開する生活等がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

●本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて、【生きる力の基礎を培う】。幼稚園の教育課程の内容を確認し、幼児の成長に欠くことの出来ない体験を基とする教育カリキュラムを編成し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

●評価項目の達成、及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して保育教諭間の共通理解を図る。	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を全職員で積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも示されているように、園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに応えていくか具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿を捉えるため研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会をもち、毎日の会議内でも自由闊達に意見が開示できる環境を作っている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、行事等についてアンケートを実施。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組む。